

うじたわら

No. 119
2024.5.1
議会だより



明日の安心を守る未来創造予算可決…… P2～P11

町政を問う（一般質問）

インタビュー（西山元太さん）

P12～P17

P21

＝田原小学校卒業式＝
「おめでとう」の言葉を胸に
明日の新しい自分にチャレンジ！

第一回 定例会

明日の安心を守る未来創造予算

令和5年度3月補正予算 令和6年度当初予算(13か月予算)

可決

定例会

定例会

令和6年第1回定例会は、3月4日から28日まで開催した。

予算関係10件(補正4件、当初6件)、条例関係15件(改正)、一般議案14件(契

約1件、その他13件)、人事関係1件について提案があり、原案通り可決・同意した。一般質問は10人の議員がたち、活発な議論を展開した。

健やかに安心して暮らせるまち

- 災害時避難所物資整備事業費 341万円
- 木造住宅耐震改修等事業費 821万円
- 物価高騰対応調整給付金支給事業費 5,693万円



便利で快適に過ごせるまち

- 宇治田原山手線整備事業費 1億2,151万円
- 宇治田原山手線関連事業費(工業団地線) 1億円
- 配水管耐震化事業費 3,250万円



活気にあふれる交流のまち

- 「ハートのまち」移住定住プロモーション事業費 116万円
- お茶の京都観光まちづくり推進事業費 460万円
- プレミアム商品券発行事業費補助金 1,250万円(3月補正)



子育てと学びを応援するまち

- 新生児聴覚検査費用助成事業費 18万円
- 出産・子育て応援事業費 528万円
- 自転車乗車用ヘルメット普及促進事業費 75万円

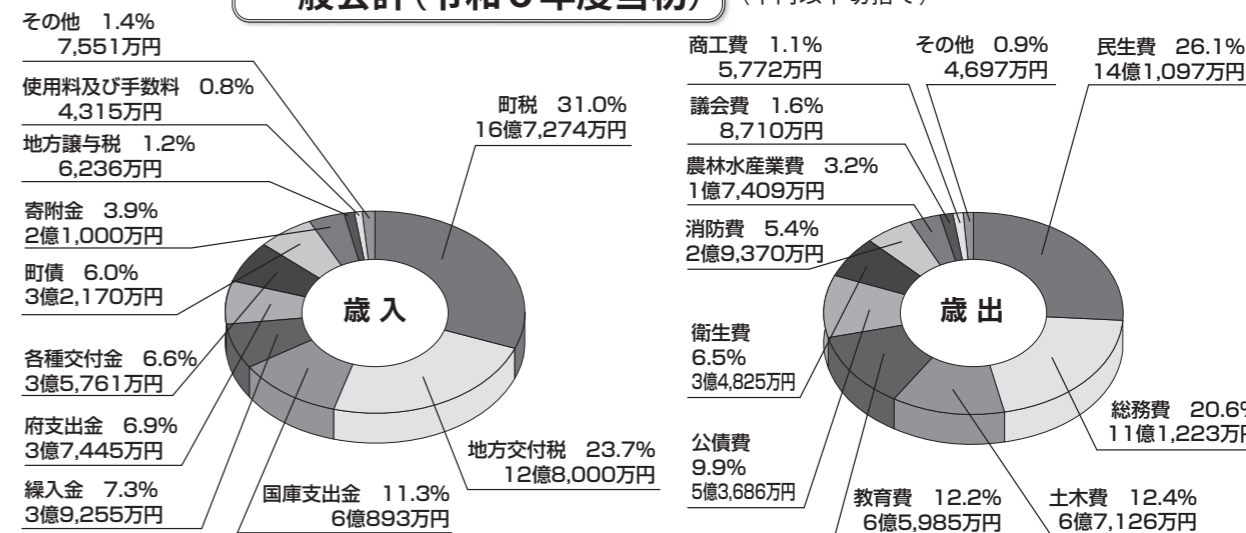


会計別の令和6年度当初予算

(千円以下切捨て)

会計名	予算額	前年比(%)
一般会計	53億9,900万円	4.3
国民健康保険特別会計	11億599万円	6.1
後期高齢者医療特別会計	1億7,990万円	16.1
介護保険特別会計	8億9,747万円	8.2
水道事業会計	5億4,115万円	9.5
下水道事業会計	8億5,259万円	△11.7
総額	89億7,610万円	3.6

一般会計(令和6年度当初) (千円以下切捨て)



*構成比については、端数処理により単純に合計しても100%にはなりません。

予算特別委員会

予算特別委員会は、3月11日に令和5年度補正予算を審査し、3月18日、21日、22日、25日の日程で、令和6年度当初予算を審査した。22日には1か所の現地審査を行った。主な質疑は次の通り。

当初予算

ここが聞きたい(総括質疑)

社会体育施設の改修は

(馬場哉議員)

問 住民プールは、親子が交流できる遊びの施設と考えるが、改修を行わないのであれば、住民に説明すべきでは。

答 施設更新費用やランニングコスト、必要な人員面の課題などを踏まえる中、総合的に検討し早期に方針決定を行い、住民に伝えたい。

問 社会体育施設は今後多額の改修費用が必要となる。新名神開通の遅れにより、まちづくりの投資効果は先にずれ込むが。

答 人口減少を現実の課題として受け止める中で総合的に検討する。また、施設更新時期が集中する当面の間は、安全性の確保を最優先に、着手すべき施設・箇所の点検と費用の算定を行い、各種補助金や有利な起債などの活用を計画的に手当てしていくことで、負担の平準化を図っていききたい。

少子化対策として子育て支援の強化を

(今西利行議員)

問 少子化対策として、いま緊急に優先すべきことは、子育て世帯の経済的負担の軽減であり、ふるさと納税も財源に給食費の一部補助や高校生通学費補助の拡充などを実施すべきでは。

答 子育て支援における経済支援は欠かせない視点である。給食費無償化は本来、ナショナルミニマム(国が保障する水準)で取り組む施策であり、高校生通学費補助は受益と負担の在り方を見直す中で継続できる制度としている。ふるさと納税は、ふるさとに対する誇りと愛着を持ってもらえるような事業に優先的に充てている。

もっと聞きたい(個別審査)

一般会計予算 (議案第5号)

管理職手当の減額はやめるべきでは

問 管理職手当を引き続き10%減額されるが、生産性の向上を考えても減額はやめるべきでは。

答 今後も財政状況は厳しくなることから、持続可能な行財政運営のため、令和3年度から実施している。住民にも理解いただくため、職員、特別職も姿勢を示す必要があることから、実施する。



予算特別委員会

インフォカナルの登録者数は

問 携帯電話などに情報を発信するシステムであるインフォカナルの登録者数は。

答 400名弱となっている。自主防災会の訓練などで広報・PR周知を行い、多くの方に登録いただけるよう努力したい。

予防接種の広域化は

問 近隣市町どこでも予防接種が広域接種できるよう、府に要望は。

答 新型コロナウイルスの予防接種について、府内で接種できる体制を検討していきたい。

新型コロナの予防接種費用は

問 新型コロナウイルスの予防接種について、生活保護・非課税世帯以外は全額自己負担となるのか。

答 接種費用は7,000円とされている。65歳以上の負担について綴喜医師会単位で検討していく。

観光の取り組みは

問 お茶の京都観光まちづくり推進事業について、新たな事業や継続事業、鷲峰山トンネル開通を見越した取り組みは。

答 令和5年度に続き伊賀越えの道ウォーキングイベント、新事業では奥山田の「青春神社」を中心としたウォーキングイベントを予定している。トンネル開通を見越し、南地域に宇治拾遺物語の天武天皇にまつわる伝承があることから、御栗栖神社(写真下)周辺の取り組みも検討していく。



総合文化センターの改修は

問 総合文化センター改修事業費について、様々な機器を最新のものにする考えは。また、改修の工事期間、その間の貸館業務および利用者に対する周知は。

答 ホール設備に関して大半は最新のものに入れ替える。工事期間については未定である。工事着工後は使用制限を予定しており、4月以降利用者への周知を図る。



現地審査(総合文化センター)

反対討論

厳しい時代を本町が生き抜くポテンシャルがない 森山高広議員

すべての問題は日本全体の情報の劣化につながる。国内外で、情報が全く違う。影響は危機感の無さにもおよび、海外でも日本人はなぜ危機感がないのか不思議がられている。研究開発力、技術力、財政などの現実には相当厳しい状態だが、意識が実情よりも相当遅れている。日本全体の問題はインフラではなく、効率の悪さである。本町でも、問題はインフラではなく、効率化が最重要課題である。このままでは生き抜くポテンシャルがない。

賛成討論

能登半島地震を教訓とした施策を展開 榎木憲法議員

令和6年度当初予算案は「明日の安心を守る未来創造予算」と題し、令和5年度3月補正予算と合わせた「13か月予算」として編成された。

その内容は1月1日に発生した能登半島地震を教訓に、断水に備えた事業や木造住宅耐震化に向けた改修補助費の拡大など策定され、また未来を担う子どもたちへの施策として、新規に自転車乗車用ヘルメット普及促進事業の創設や、従来からの未来挑戦隊プロジェクト応援を切れ目なく継続されるなど高く評価できる。

反対討論

住民の要求に沿った予算配分を 今西利行議員

物価高騰、賃金があがらない中、いま緊急に必要なことは、子育て世代を応援し、若い人が住み続けられるまちづくりである。給食費の一部補助、高校生通学費補助の拡充、体育館へのエアコン設置、少人数学級の町単費での実施を求める。「はーとバス」は、乗車料金の高額さなどから、利用が低迷している。高齢者や障がい者などへの無料パス制度などの充実を求める。人口増と、住民福祉の向上のため、住民の要求に沿った施策に予算を配分することを求める。

後期高齢者医療特別会計予算
(議案第7号)

反対討論

保険料引き上げは高齢者にさらなる痛みを強いる
今西利行議員

後期高齢者医療制度は、一昨年10月から、窓口負担が2倍になり、その上に、来年度の保険料は、一人当たり6,700円もの引き上げになる。物価高騰と年金削減にあえぐ高齢者にさらなる痛みを強いるものであり反対する。

介護保険特別会計予算
(議案第8号)

報酬引き下げの影響は

問 ホームヘルパーの報酬引き下げについて、本町での影響は。

答 懸念内容などは聞いていないが、本町の訪問介護の現状について、事情を聴き取り、府や関係者に伝えていきたい。

問 採算が合わない訪問介護事業から撤退する可能性も懸念されるが。

答 他の施設サービスや赤字事業の報酬引き上げ、加算措置のプラスアルファ分はあるが、訪問介護事業が成り立たなくなる懸念も報道されていることから、3年後の報酬改定に向け、本町事業者から話を聞き、状況把握に努めたい。

水道事業会計予算
(議案第9号)

配水管の耐震化は

問 耐震化が必要な配水管の残り30%の整備はいつか。

答 水道の配水管は、下水道管渠の布設に合わせて更新を行っていることから、下水道管渠の無い地域の更新が残っており、石綿管の問題もあり、順次取り組む。



配水管布設工事

下水道事業会計予算
(議案第10号)

下水道事業の広域化は

問 下水道事業の広域化について、昨年9月の決算特別委員会後の状況は。

答 木津川流域下水道への接続については、府に推進を要望したところ、協力していくとの回答があったことから、流域下水道への統合管の費用を割り出すための基礎調査に取り組んでおり、来年度に報告を予定している。

町長等の給料の額の特例に関する条例の一部改正
(議案第13号)

減額の判断は

問 給料の減額は、特別職の判断によるものか。

答 町を預かる町長として、今後も責任を持ってまちづくりを進めたいと考えており、本議案提出は町長である私の判断である。

反対討論

特別職の影響よりメディアの劣化の影響大
森山高広議員

住民も行政もかなり遅れた情報や質の低い情報を基にしており、誰が町長をしてもほぼ同じ結果になる。つまり、特別職の影響よりメディアの劣化の影響の方が大きい。引き下げではなく、統計学やアジア視察で自分に投資する方が良い。

介護保険条例の一部改正
(議案第16号)

介護保険料改定に対する負担の軽減は

問 今回の介護保険料改定では、なぜ全ての所得段階で引き上げとなるのか。国の負担を増やし、国民の負担が減らせるよう、要望を強めるべきでは。

答 被保険者の保険料は、所得に応じて15段階に区分している。今後3年間で必要となる保険料総額が増えているため負担額も増加する。公費負担の割合については、現在の基本の範囲を守っていくことが前提である。

反対討論

保険料引き上げは住民の暮らしを厳しくする
山本精議員

本議案は、昨今の物価高騰や年金引下げ、消費税減税に背を向ける政府の政策、賃金が上がらない中において、すべての段階で保険料を引き上げることについては、住民の暮らしや営業が厳しくなることは明白である。

国民健康保険税条例の一部改正
(議案第21号)

国保税はいくら上がるのか

問 今回の改定で国保税はどの程度引き上げられるか。

答 全ての年代において概ね3~7%増となるが、軽減世帯については大きな増額になっていない。

反対討論

これ以上の負担増は行うべきではない
今西利行議員

今回の改定で、保険税が引き上がり、夫婦と子ども2人世帯で収入300万円の場合、17,800円上がる。平等割、均等割があがるため、所得のない7割軽減の方も負担増となる。国保加入者は低所得者が多く、これ以上の負担増を行うべきではない。

都市計画道路宇治田原山手線建設工事委託に関する協定の一部変更
(議案第26号)

山手北線の進捗は

問 新名神高速道路の完成延期が山手北線の工事委託に及ぼす影響と、現在の進捗状況は。

答 緑苑坂から町道禅定寺奥山田線まではほぼ完成しており、今回の変更はその場所から大津市までの工事に関するものである。新名神を跨ぐ橋梁は、令和8年度までの完成としており、新名神の完成延期は、山手北線の供用開始に関わるため、NEXCO西日本、大津市と協議を進めながら一日も早い完成をめざしたい。



山手北線

メンテナンス費用の負担割合は

問 橋梁部分のメンテナンス費用の負担について、大津市と協議をしておく必要があるのでは。

答 橋梁のメンテナンス費用は、基本的には半分半分であると考えているが、本町と大津市で協議したい。

令和5年度補正予算一般会計
(議案第1号)

給付金の手続きは丁寧に

問 低所得世帯への物価高騰対応支援給付金について、確認書の返送が必要となるが、高齢者世帯などで手続きの流れを理解できない場合の対応は。

答 ケアマネージャーや、おたっしや訪問で何う町職員などが申請の勧奨や説明を行い、丁寧に対応し、申請につなげたい。

定例会

定例会

給付金でなく根深い問題として対応を

☐ 給付金は納税者の負担増につながり、日本自体が衰退する中、短期思考的な給付金ではなく、もっと根深い問題として対応する必要があるのでは。

☑ 本町としては、国の交付金を活用して少しでも住民のプラスになるような施策を講じている。

恩恵が広く届くように

☐ プレミアム商品券発行事業について、以前は5,000セット発行、購入限度額5万円としていたが、今回は3,000セットに減るため、購入限度額を1人3万円にすれば恩恵が広く届くのでは。

☑ 事業主体である商工会と調整を図る。

反対討論

給付金では、納税者のさらなる負担増になる 森山高広議員

実質賃金が21か月連続減となる中、給付金は納税者のさらなる負担増に繋がる。ほぼ全ての国で賃金と物価が上昇している為、このままでは給付金は永遠に続く。日本では68%はすでに自国は衰退していると調査で答え、限界がきている。そのため超短期志向的な給付金で対応すべきではない。しかも本町にも必ず影響が出る。民主主義の国では、国会議員が悪いとか言うレベルの話ではなく、国民一人ひとりに問われている問題である。

後期高齢者医療特別会計 (議案第3号)

反対討論

高齢者の生活と健康を脅かす制度に反対 今西利行議員

今回の補正予算は、見込み額の精査や確定に伴うものであるが、そもそも本制度については、医療費窓口負担の引き上げ、保険料の大幅値上げなど、負担増を強い、高齢者の生活と健康を脅かしているものであり、制度に反対する。

人事案件



○人権擁護委員の推薦同意
はやし まりこ 氏
林 真理子 氏
(禅定寺)

任期
令和6年7月1日～
令和9年6月30日まで

総務建設常任委員会

3月12日、付託議案16件を審査した。また報告事項7件があった。主な質疑は次の通り。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (議案第15号)

法律の一部が改正されるため、条例の改正をする

事務内容はどうかかわるのか

☐ 特定個人番号利用事務及び利用特定個人情報の定義が追加され、第4条では規定の整備が行われるが、実際の事務内容はどのように変わるのか。

☑ 事務内容が変わることは想定していない。今回の改正は条例と法律の対応関係を保持するために行う。

反対討論

マイナンバーカードの利用拡大はやめるべき 今西利行議員

マイナンバーカード利用範囲の拡大が打ち出されたことを受けた本町の条例の改正については、この制度に対する国民の不安、心配は根強いものがある状況下、利用を拡大すべきではない。

〈報告事項〉

建設環境課

- ・第3期環境基本計画に係るパブリックコメントの実施結果
- ・第4回環境保全計画策定委員会の開催結果

まちづくり推進課

- ・第9回地域公共交通活性化協議会の開催結果
- ・沖縄県南城市との交流
- ・新名神高速道路建設事業等の進捗

産業観光課

- ・ため池ハザードマップ

上下水道課

- ・水道事業及び下水道事業経営等審議会第2回会議結果

文教厚生常任委員会

3月13日、付託議案7件を審査した。また報告事項3件があった。主な質疑は次の通り。

指定居宅介護支援等の事業の条例の一部改正 (議案第17号)

人員及び運営に関する基準を定める

人員基準はなぜ44人と増えたのか

☐ ケアマネージャーの人員基準が35人から44人と増えているが。

☑ 介護職の人材不足が懸念されることから国において改定された。サービスの質を落とさぬよう対応策も講じられている。

反対討論

規制緩和では利用者サービスの低下を招く 山本精議員

改正の背景には、介護の現場で働く職員の負担を軽減するというが、介護職員を増やすのが当たり前なのに、規制緩和で利用者サービスを低下させることで解決しようとしている。このような改正は、国民の理解が得られない。

指定地域密着型サービスの条例の一部改正 (議案第18号)

人員、設備及び運営に関する基準を定める

改正のメリットは

☐ 管理者の兼務範囲「同一敷地内にある」の文言が削除されているメリットは。

☑ サービスの質の確保を前提に、管理上支障がない場合は他の施設の職務に従事してもよいことから、サービスの効率的な提供継続に繋がる。

〈報告事項〉

子育て支援課

- ・令和6年度宇治田原町立保育所入所申込み状況

学校教育課

- ・令和6年度小中学校児童・生徒数、学級数の見込み

社会教育課

- ・令和6年度放課後児童健全育成施設入所申請状況

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	榎木	馬場	森山	山本	宇佐美	藤本	今西	上野	原田
人事	議案第40号	人権擁護委員候補者の推薦について(林眞理子氏の推薦)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度補正予算	議案第1号	一般会計補正予算(第6号)(低所得世帯への物価高対応支援給付金支給事業費の追加、各種事業の決算見込みなど)【7,531万5千円の追加】	✓		可決	○	○	○	●	○	○	○	○	-	○
	議案第2号	国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定)(第2号)(保険給付費の決算見込みなど)【60万1千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	議案第3号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(保険料調定額の増に伴う補正)【156万1千円の追加】	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	-	○
	議案第4号	介護保険特別会計補正予算(第3号)(保険給付費の決算見込みなど)【保険事業 1,756万9千円の追加】 【介護サービス事業 7万6千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度当初予算	議案第5号	一般会計予算【53億9,900万円 前年度比4.3%増】	✓	✓	可決	○	○	○	●	●	○	○	●	○	○
	議案第6号	国民健康保険特別会計(事業勘定)予算【11億599万1千円 前年度比6.1%増】			可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第7号	後期高齢者医療特別会計予算【1億7,990万1千円 前年度比16.1%増】	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第8号	介護保険特別会計予算【8億9,747万5千円 前年度比8.2%増】			可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第9号	水道事業会計予算【5億4,115万円 前年度比9.5%増】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	下水道事業会計予算【8億5,259万2千円 前年度比11.7%減】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第11号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(監査委員及び教育委員会委員の報酬改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	宇治田原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例を制定するについて(会計年度任用職員に勤勉手当を支給する)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	宇治田原町長等の給料の額の特例に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(期限を定め町長等の給料の一部を引き続き減額する)	✓		可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	議案第14号	宇治田原町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を制定するについて(政令改正に伴う補償基礎額の改定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	宇治田原町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う定義の追加)	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第16号	宇治田原町介護保険条例の一部を改正する条例を制定するについて(保険料の引き上げに伴う条例の一部改正)	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○

*浅田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	榎木	馬場	森山	山本	宇佐美	藤本	今西	上野	原田
条例	議案第17号	宇治田原町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(省令改正に伴う条例の一部改正)	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第18号	宇治田原町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(省令改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第19号	宇治田原町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(省令改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第20号	宇治田原町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(省令改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第21号	宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を制定するについて(税率見直しに伴う条例の一部改正)	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第22号	宇治田原町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(支給対象に精神障害者保健福祉手帳保持者の一部を加える)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	宇治田原町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第24号	宇治田原町水道布設工事監督者の設置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	宇治田原町監査委員条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	都市計画道路宇治田原山手線建設工事委託に関する協定の一部変更について(協定金額の増額変更)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第27号～第38号	指定管理者の指定について(宇治田原町奥山田ふれあい交流館)(宇治田原町老人福祉センターやすらぎ荘)(宇治田原町ふれあい福祉センター)(銘城台自然公園)(銘城台児童公園)(緑苑坂てんじんやま公園)(緑苑坂にし公園)(緑苑坂なか公園)(宇治田原町林業センター)(森林総合利用施設(木山及びくつわ池自然公園))(宇治田原町商工センター)(宇治田原町お茶の京都交流拠点施設)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第39号	城南衛生管理組合規約の変更について(組合事務所が八幡市から宇治市へ移転するもの)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

*浅田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

表決結果

表決結果

一般質問

3月6日
～7日

町政を問う

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。



質問者	質問事項
1 山本 精 (P13)	1. 高齢者対策 2. 通学路 *
2 今西利行 (P13)	1. 元理事の再逮捕 2. 防災対策 *
3 山内実貴子 (P14)	1. ごみの削減と資源利用 2. 健康維持と希望ある生活を送るための施策
4 榎木憲法 (P14)	1. 施政方針 2. 能登半島地震に学ぶ *
5 宇佐美まり (P15)	1. 健康対策事業 2. 地域公共交通 *

質問者	質問事項
6 馬場 哉 (P15)	1. 高齢者福祉施策
7 森山高広 (P16)	1. コスト意識 2. 厳しい財政と時代に立ち向かう 3. 過去の財政予測 *
8 上野雅央 (P16)	1. 府道宇治木屋線
9 原田周一 (P17)	1. 水道施設の耐震 2. 公金管理 *
10 藤本英樹 (P17)	1. 産業振興 2. 防災対策 * 3. 新名神高速道路完成遅延によるまちづくりへの影響 *

主な内容について、各議員の責任による要約原稿を掲載しています。

*印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。



議会の日程はこちらから

加齢性難聴者に補聴器購入補助は

財源配分を考え検討



やまもとただし
山本精議員

問 加齢性難聴と生活の質や安全、認知症との関係は。

答 (福祉課長)

聞こえづらさが孤立やクオリティの低下の一因となりうるという研究は、認知症についての様々な研究と分析により進められていくものと推察される。認知症に対する有効的施策について国および府の動向に注視する。

問 町は高齢者の加齢性難聴者の実態をつかんでいるのか。高齢者地域福祉計画策定にかかわるアンケートなどで、「聞こえに関する設問」「補聴器の

有無」などを追加し実施する必要があるのでは。

答 (福祉課長)

高齢者の実態把握という視点から、今後、計画改定などに際し実施するアンケート調査にて、項目の設定について検討を行う。

問 加齢性難聴者に補聴器購入費助成は、全国的に増えている。近隣自治体も創設している。本町も早期に創設しては。

答 (福祉課長)

限りある財源をどのように配分することが最適であるか、引き続き検討する。



補聴器の例

再度の不祥事に対する認識は

その責任を重く受け止めている



いまにしとしゆき
今西利行議員

問 元理事が中央公園造成工事の入札にかかわって再逮捕され、再び有罪判決を受けた。町の認識は。

答 (町長)

再度の発覚に、町政を預かる者としてその責任を重く受け止めている。町として実態把握と原因究明を行い、再発防止策を検証する。

問 事件が起きた背景やその原因を究明するのは、町の責任である。責任をもって真相を解明し、明らかにすべきでは。

答 (町長)

平成27年度からの一定金額以上の

工事を対象に、客観的事実を基に疑義のある事象を抽出し、入札監視等委員会と協議する中で対応をとりまとめる。

問 元理事に「特命担当」という特別な役職を与えていたことや、事務分掌にない組織体制が不祥事の背景では。

答 (町長)

議会の重大事件等調査特別委員会からも「特定の個人の能力に依存しすぎることは問題」などの指摘があり、真摯に受け止めている。住民に信頼される組織づくりに努める。



京都地方裁判所

ごみ削減の取り組みの見える化は

重要な視点と考える



やまうち みきこ
山内実貴子議員

問 ごみの削減や取り組みは再度啓発が必要であり、HPや広報紙でその効果などを掲載するなど、ごみ削減の取り組みが大切だと知らせるため、見える化をしては。

答 (建設環境課長)

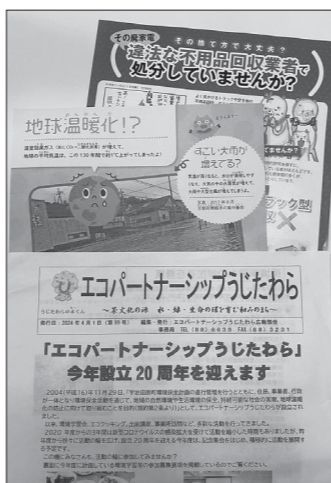
ごみの発生量や削減率などを、町HPや広報紙掲載などで把握しやすくすることは重要な視点と考える。エコパートナーシップうじたわらとともに、これまで以上に、環境に係る情報発信や環境学習に取り組んでいきたい。

継続的な健康維持への取り組みは

問 誰でもが楽しみながら、戸外でのイベントや様々な活動に参加し、健康維持への取り組みが継続して行えるようにと願っている。そのための取り組みは。

答 (副町長)

新たに、住民参加型の健康イベントの開催を考えている。以降も、生涯にわたって切れ目のない住民個々の健康活動を支援していきたい。



地球温暖化防止など啓発チラシ

令和6年度の重点施策は

能登震災を教訓に施策展開



えのき のりみち
榎木憲法議員

問 令和6年度は町長にとって、3期目最後の年度である。過去3年間の総括は。

答 (町長)

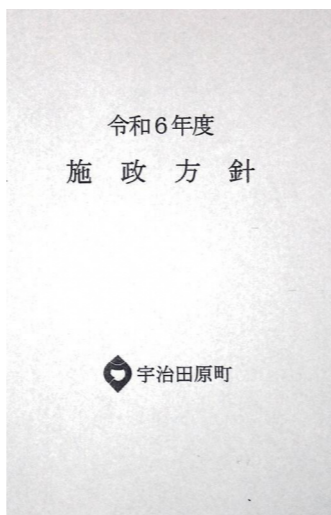
総括として道路ネットワークでは宇治田原山手線の一部、南バイパスから役場までを開通することができた。コロナ対策では3年間コロナ感染症との闘いの期間であった。その間世代ごとに切れ目のない経済支援に努めてきた。行財政改革では10年ぶりに令和3年度・4年度実質単年度収支が黒字となった。これらの総括を踏まえ、3

期目の総仕上げに臨む決意を施政方針に示した。

問 今後の財政シュミレーションでは厳しい状況が予測されるが、令和6年度の重点施策は。

答 (町長)

能登半島地震を踏まえ、避難所備蓄物資や防災資機材の整備を進め、木造住宅や水道管の耐震化を図る。新たに自転車用ヘルメット購入への助成制度を創設した。また未来を担う子どもたちを育むため、チャレンジを応援する特色ある取り組みを引き続き実施する。



令和6年度施政方針

健康対策事業の方向性は

ニーズや課題を捉える



うさみ まり
宇佐美まり議員

問 これまで健康対策事業として行ってきた各事業の総括や改善点は。

答 (健康対策課長)

生活習慣病予防や介護予防を目的として、生涯にわたり自主的かつ継続的な運動習慣を持つ方の増加をめざし、住民に寄り添った健康づくり事業を展開してきた。

問 健康対策事業として、今後どのような方向性をもって臨んでいくのか。

答 (健康対策課長)

各種健康づくり事業への契機とするため、全年齢層を対象とする新たな住

民参加型の健康イベント開催のほか、「健やかうじたわら 21プラン」の検証と中間見直しに取り組む。

問 健康寿命を伸ばし、住み慣れた地域で生きがいを持ちながら安心した暮らしを続けるため、ナッジ理論*を利用した受診勧奨はできないか。

答 (副町長)

個別勧奨においてもナッジ理論の視点も持ちつつ、これまで健康づくりに無関心であった層を含め、さらに住民のニーズや課題を捉えたアプローチを進めていきたい。



ちよいしレ筋活の様子

*ナッジ理論とは
選択の自由を残しつつ、より良い選択を気分良く選べるように促すこと

特別養護老人ホーム事業者誘致は

次期計画に方向性を記載する



ばんば はじめ
馬場 哉議員

問 平成28年当時、地域密着型特別養護老人ホームの誘致を予算化されたが、残念ながら事業者との調整が付かず断念された。今後ますます介護需要も増加するが、対策は。

答 (福祉課長)

令和6年度より第9期高齢者介護・福祉計画がスタートするが、要介護の方々に対応する様々な施設の中で、介護医療院を計画している。

問 新たな施設が出来ることを期待している。併せて訪問看護など、高齢者の医療サービスを提供できる体制を整

えてもらい、介護をされている家族の不安解消になればと考えるが。

答 (福祉課長)

そのように考える。

問 高齢者の方が住み慣れた所で、介護サービスが充実すると安心していただける。それに伴い、保険料が上がると思うが、改定については。

答 (福祉課長)

保険料を納めていただく方に、丁寧に説明していく。また、要介護にならないよう、予防事業にもしっかりと取り組んでいきたい。



町の介護保険ミニガイド

一般質問

一般質問

住民とコスト意識共有が必要では

とても大切な視点と認識している



もりやまたかひろ
森山高広議員

この厳しい時代には、住民一人ひとりとコスト意識の共有が重要では。例えば、サービスを使用するごとに、一人当たりの実際のコストを明示しては。

答 (企画財政課長)

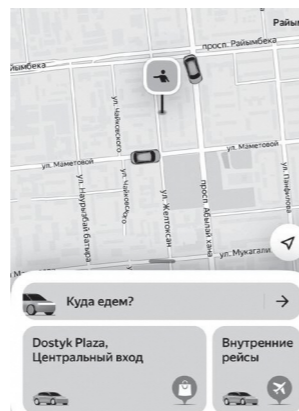
コスト意識の共有はとても大切な視点と認識している。決算状況は平易な家計簿に置き換え、広報紙に掲載している。住民の皆さまにも「自分ごと」として関心を持っていただけるよう、引き続きその可視化と周知に努める。

この厳しい時代には、住民に根拠的な

夢や安心安全などできない事を言うのをやめ、現実的になるべきでは。開発途上国に行ったが、IT、建造物のデザイン、公園の安全性などで日本よりも進んでいる。一方、先進国の自治体は日本とはレベルが違う争いをしている。これで安心安全と言われても空しい。

答 (企画財政課長)

暮らしの安全と安心を守ることは、基礎自治体に課せられた住民福祉の増進をはかる前提として、基本的かつ大変重要な施策であると認識している。



開発途上国の先進的なアプリの例、ヤンデクス Go*

*ヤンデクス Go (ヤンデックスゴ)とは配車をリクエストしたり、レストランに食べ物を注文したり、街中に商品を送ったりするためのアプリ

府道宇治木屋線の交通体系は

広域路線の可能性を模索していく



うえのまさお
上野雅央議員

府道宇治木屋線の交通安全対策について、国道307号交差点および南栗所交差点の2か所の信号機を早急に設置すべきでは。

答 (副町長)

宇治田原山手線の通行量は徐々に増加しており、南栗所交差点の信号機は令和6年3月設置予定であるが、国道307号交差点は新名神開通に合わせた時期になる。引き続き地域住民の交通安全も考慮し、府や警察へ要望していく。

鷲峰山トンネル開通によるにぎわい創出と交通体系の見直しに向けた取り組みは。

答 (副町長)

供用開始に伴い、将来的に府南部エリアの広域的な交通の要衝として、観光や物流などを通じて、地域の活性化に寄与すると予測している。現在、山城管内の自治体による公共交通会議において、情報交換も進行中である。事業者とも意見交換など協議を進め、広域路線の可能性について、様々な視点から模索したい。



信号機設置済みの南栗所交差点

本町水道施設の耐震適合率は

水道管は70%施設は40~50%



はらだしゅういち
原田周一議員

能登半島地震では、水道施設の老朽化が大きな問題になった。基幹管路の本町の状況と各浄水場システムの構造物の耐震適合率は。

答 (上下水道課長)

公共下水道管渠布設工事時に老朽管を適合性の管へと更新中で、70%と全国的に見ても高い。耐震適合率については、浄水施設は42.2%、配水地は50.1%である。昭和47年の創設当時の施設は低く、その後の増設・更新の施設は高い。

先日経営審議会が提言書を手渡し

たとの報道があった。料金改定計画(案)は妥当である。今後も定期的に料金見直しの検討を行い、財政状況の改善に努められたいとあるが。

答 (町長)

過去10年間黒字決算であったが、令和6年は赤字になる見込みである。老朽化施設の更新・耐震化に伴う投資の増大、電気料金の高騰、予測される給水人口の減少などによる料金収入の減少は、もはや限界にきている。一定程度の自己資金・内部留保の蓄積が必要である。



耐震水道管工事

お茶のまちとして乾杯条例制定は

関係者と連携し取り組みを進める



ふじもとひでき
藤本英樹議員

本町は緑茶発祥の地としてまちづくりに取り組んでいる。その一環として緑茶乾杯条例を制定しては。

答 (産業観光課長)

乾杯条例については、各地で特産品や作物の普及、消費拡大目的として制定され、お茶についても茶の産地で条例を制定している自治体もある。

本町も「宇治田原茶」の更なるPRに向け、先進自治体での取り組み内容を調査・研究していく。

京都市では清酒乾杯条例、和歌山県田辺市では梅酒乾杯条例を制定して

いるが、地元郷土愛が強い町長から地元特産品に対する普及啓発条例を制定することは、インパクトが強い条例となるのでは。

答 (町長)

人々が集う場で、緑茶で乾杯、または締めには緑茶で乾杯をすることを規定することになるかと思うが、急須で入れた美味しいお茶の普及拡大に繋がる条例となるよう、茶業関係者、飲食店と協議・調整を行った上で「お茶のふるさと宇治田原」にあった条例となるよう積極的に検討していく。



本町特産品の緑茶

一般質問

一般質問

総務建設常任委員会

1月24日、各課の第4四半期の事業執行状況と報告事項3件があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

総務課

防災施設の備蓄品などの整備は

問 防災施設における備蓄品の数量情報などの詳細情報は防災マップに掲載されるのか。

答 備蓄物資、備蓄倉庫の整備については、各施設の場所など、それぞれの整備目標という形で防災計画に数値を掲載している。

企画財政課

ふるさと納税の制度改革に伴う影響は

問 制度改革に伴って、府とのコラボができるようになったが、具体的な取り組みは。

答 府の方で本町の特産品をPRしてもらっており、12月末現在において前年比より15.9%増している。

産業観光課

モンキーダッグの進捗状況は

問 有害鳥獣対策として、3頭目の候補犬の訓練はどのような状況まで進んでいるのか。

答 現在、訓練を10回ほど行っているが、実用にはもう少し訓練が必要な状況にある。

〈報告事項〉

企画財政課

・入札監視等委員会（令和5年度第2回）開催概要

まちづくり推進課

・宇治田原山手線北線建設事業に係るNEXCOとの協定変更

上下水道課

・宇治田原町水道事業及び水道事業経営等審議会令和5年度第1回会議結果

高齢世帯への料金引き上げは厳しいのでは

問 水道料金の改定計画案では、引き上げ率10%とあるが、高齢世帯のことを考えても厳しいのではないのか。

答 直面する経営環境として、給水人口の減少による料金収入の減少、施設更新、耐震化による投資の増大もあり、近隣市町の平均を超えない配慮をしつつ説明責任を果たしながら進めたい。

文教厚生常任委員会

1月25日、各課の第4四半期の事業執行状況と報告事項2件があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

福祉課

今後介護保険料の改訂見直しなどあるのか

問 来年度に向け策定中だと考えるが、保険料改訂の見通しは。

答 令和4年度・5年度の各年度とも、計画値より4～6.6%アップしており、次年度増額をお願いすることになる。

健康対策課

国保料の値上げ見直しは

問 来年度の国保税改訂見直しと基金との兼ね合いは。

答 府より昨年度比12%増の納付金通知があったことから、国保運営基金活用も含め税率の判断をしたい。

学校教育課

家庭学習支援事業での受講者費は微増だが

問 昨年に比べ受講者数がそれ程増えていない。要因は。

答 要因特定は難しい。家庭での習い事や塾通いの方もおられると認識している。

区	オンラインによる家庭学習・受講者数			
	年度		年度計	
小6	R5	R4	R5	R4
小5	3	5	10	9
中2	7	4	8	6
中1	1	1		
中1	7	5	18	15

家庭学習支援事業
(* 文教厚生常任委員会資料より転記)

学校給食費の無償化は

問 学校給食費無償化・令和6年度見直しは。

答 総合的観点から検討が必要と考えている。

〈報告事項〉

福祉課

・第3期宇治田原町障がい者基本計画等（素案）

健康対策課

・宇治田原町国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画（素案）

全員協議会

令和6年3月4日、逮捕された元職員の第2回および、第3回公判について報告があった。

第2回公判（令和5年12月20日）では、弁護士立証として、証人尋問、被告人質問があった。

証人尋問では、被告人の長女が出廷し、前回の判決後、家族で話し合ったこと、前回の事件について、父が反省していたこと、家族として生活面、体調面で支えていきたい事などが話された。また、被告人尋問では、相手業者Aと知り合った経緯や、予定価格の漏洩、金銭の收受について、また、設計金額を覚える習慣についてなどが、被告人により話された。

次に、検察官論告・求刑では、当該入札の不成立を防ぐため予定価格を教示したとしているが、一般競争入札の主旨を暴虐するものでもあり、正当化されるものではない。被告人が起訴事実を認め、反省の態度を示していることを考慮しても厳しい処分を科すべきであり、「懲役1年及び追徴10万円」に処するのが相当であるとした。

そして、弁護士最終弁論、被告人最終陳述などが行われた。

第3回公判（令和6年2月8日）では、判決内容が次の通り言い渡された。

- ・被告人を懲役1年に処する
- ・執行猶予3年
- ・被告人から10万円を追徴する

刑事責任は消し去れないが、前回逮捕の確定裁判の余罪である事、事実を認めて反省の態度を示していること、家族の支援が見込まれるなど、くむべき事情を考慮するとした。

町入札監視等委員会が令和5年12月25日、令和6年3月13日に開催された。その内容について令和6年3月4日、28日に報告され、質疑が行われた。

入札監視等委員会からの意見

- ・予定価格の事前公表については、国の考えを基本に

これまでどおり事後公表すべき

- ・最低制限価格についても、これまでどおり非公開とすべき

この意見を受け、町は、庁内で協議、再調整した調査報告書（案）の委員会提出（確認）をもって、今回の不正事案に対する調査および不正再発防止策の検証を終了するとした。



入札監視等委員会

議員研修

令和6年2月15日、議員の一般質問について、また、議員間や有権者などとのハラスメントについて、講義並びにDVDでの研修を行った。



議員研修

広報編集委員会

広報編集委員会の活動を Q&A 形式で紹介します。

広報編集委員会とは

広報編集委員会では、議会活動を住民の皆さんにお伝えすることを目的として年4回、議会だよりを発行しています。メンバーは、委員6名で成り立っています。各議会だより発行に際し、打合せ1回、委員会3、4回、反省会1回を開催しています。また、これ以外でもオンライン上でも編集を行っています。

なぜ横書きになったの

今後のさらなるデジタル対応、編集やレイアウトの容易さを考慮に入れ、縦書きから横書きへ徐々に移行し、議会だより117号より、横書きへ完全移行しました。

デジタル対応とIT技術の利用は

デジタル時代に対応するため、議会だより116号より、クラウドサービスのGoogle Drive*を導入し編集しています。具体的には、各委員は担当の記事を、広報編集委員会のオンライン上のフォルダーにアップロードして、全委員で校閲しています。また、委員会にて、各委員がラップトップやタブレットを持ち寄り、自動テキスト読み上げ機能を使いながら、校閲を行っています。



119号のフォルダーの例



委員会での校閲風景

研修はあるの

広報編集委員会では、町村議会議長会主催の研修会に参加し、講師から添削、レイアウトに関するアドバイスをいただいています。アドバイスを生かし、今後もより良い議会だよりをめざしています。



議会研修誌地方議会人2024/2の「議会広報紙を見やすく、わかりやすく」の例で掲載された宇治田原町議会だより

*Google Driveとは Googleによる無料オンラインストレージで、ドキュメントファイルはもちろん、写真や動画など様々なデータをインターネット上でGoogle Driveと呼ばれるクラウドに保存することができるサービス

インタビュー

地域おこし協力隊

にしやま がんた
西山 元太さん

新しい地域おこし協力隊の西山元太さんに
宗円交遊庵やんたんでインタビューしました。



インタビュー

Q. 簡単に自己紹介を

A. 京都市の出身です。21歳とまだまだ未熟者ですが、フレッシュなパワーで宇治田原町を盛り上げて行きたいです。アウトドアな性格なので、色々な行事などに参加したいと思っています。町内に居住していますので、ぜひ気軽に誘って頂けると嬉しいです。

Q. 趣味や特技は

A. 実家の前が銭湯でしたので銭湯と温泉巡り、サウナが大好きです。特技は14年間やってきたサッカーで、今は京都市内でコーチをしています。ゴールキーパーとして京都府代表まで経験しました。

Q. 地域おこし協力隊になられたきっかけは

A. 今までの環境を変え新しい事にチャレンジしたいという思いがありました。今しか出来ない経験・出会いなどが、これからの人生の中の大きな財産になると思っていたからです。



西山さん(左)「元太スマイル」にお客様も笑顔



仕事中の西山さん

Q. 宇治田原町でチャレンジしたいことは

A. 3年間という時間で商品開発やイベントの運営を考えています。その中で自分がどれだけ出来るのか、事業をどれだけ拡大させることが出来るのか3年後の自分の姿を見るのが楽しみです。

まちかど点景



弘法の井戸に春が来た (高尾)



認知症予防ゲームで地域が元気に (さくら福祉まつり)



みんなで仲良く一年生 (宇治田原小学校)

全国町村議会議長会表彰
このたび原田周一議員が、議
会議員 15 年以上の在職者として表彰を受けられました。

次回議会の予定
〈6月定例会〉

6月6日(木)開会日

詳しい予定はHPにて
お知らせします。

編集後記

青葉を吹き渡る快い風が吹く頃となりました。新学期もスタートし、子どもたちの胸は希望と期待でいっぱい膨らんでいることでしょう。また、この時期は子どもたちが新しい環境に適應できるように、周りの大人理解とサポートが必要な大切な時期とも言えます。

議会だよりは、みなさまに親しまれる紙面をめざしています。ご意見、ご感想をお寄せください。

広報編集委員 宇佐美

